



2011年6月7日

各 位

会 社 名 株式会社トランスジェニック
代表者名 代表取締役社長 福永 健司
(コード番号 2342 東証マザーズ)
問合せ先 取 締 役 坂本 珠美
(電話番号 078-306-0590)

メタボリックシンドロームに関する共同研究契約締結に関するお知らせ

株式会社トランスジェニック(代表取締役社長：福永健司、熊本県熊本市)は、国立大学法人東京大学(総長：濱田 純一、東京都)(以下、東京大学)及び大日本住友製薬株式会社(代表取締役社長：多田正世、大阪府大阪市)(以下、大日本住友製薬)との間で、2011年6月7日、「メタボリックシンドロームマーカー候補タンパク AIM」に関して共同研究契約を締結しましたので、お知らせいたします。

このたびの共同研究は、東京大学医学系研究科 宮崎徹教授の研究グループらによりメタボリックシンドローム関連分子であることが見出された AIM (Apoptosis inhibitor of macrophage)抗体に対する研究を行うものであります。

今後、当社は東京大学および大日本住友製薬と共同で AIM 抗体に関して研究を進めてまいります。

当社は、本共同研究により、新たにメタボリックシンドローム領域を加え、バイオマーカー開発パイプラインの拡充を図るものです。

本共同研究契約の平成 24 年 3 月期の連結業績への影響は軽微であり、業績予想に変更はありません。

- ◆ご参考 : AIM(Apoptosis inhibitor of macrophage)
AIM は、マクロファージから産生され、脂肪細胞やマクロファージ自身に作用します。脂肪細胞に蓄積した中性脂肪を分解することにより、肥満を制御したり、マクロファージの細胞死を抑制することで動脈硬化を進行させたりするなど、AIM にはメタボリックシンドロームとの強い関連が認められております。メタボリック関連の病態診断や治療薬への応用が期待されています。

以上